

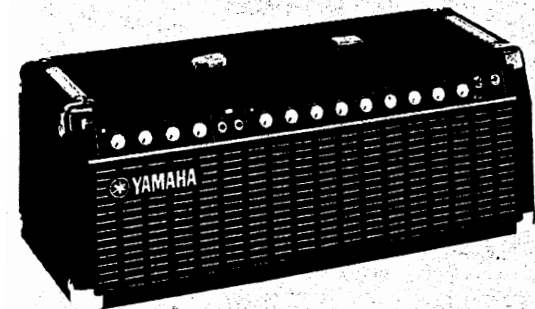
AMPLIFIER

取扱説明書

Guitar Amp. Head **F100G**
Bass Amp. Head **F100B**

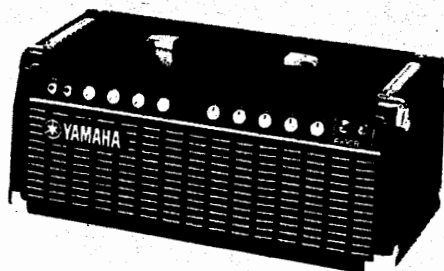


F100G Guitar Amp. Head



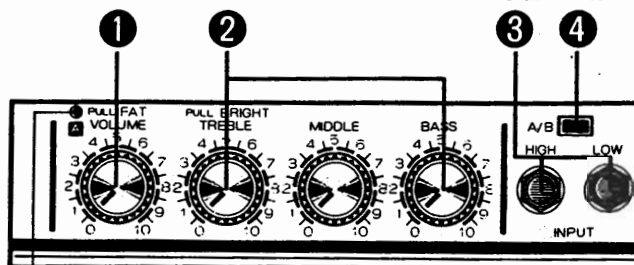
ヤマハギターアンプF100Gは2系列の入力部A、Bを持ち、プッシュスイッチ(またはフットスイッチ)によりA、Bのいずれかを選択することができます。Aチャンネルはノーマルな入力でクリアーなサウンドを。BチャンネルはGAIN, MASTER VOLUMEの組み合わせにより、ディストーション(オーバードライブ)サウンド効果が得られます。音色のコントロールとして、BASS, MIDDLE, TREBLEを独立して調整できるほか、PULL FAT, PULL BRIGHT スイッチを設けて瞬時に中音域、または高音域の音色を強調できる機能を備えたライブパフォーマンスの優れた構成となっています。更にパラメトリックイコライザーを採用。従来のトーンコントロールでは得ることのできない、きめの細かいサウンド創りを可能としています。

F100B Bass Amp. Head



ヤマハベースアンプF100Bは、スタジオやライブステージなどでも余裕ある100Wのハイパワーです。トーンコントロールは、BASS, MIDDLE, TREBLEを独立して調整できるほか、ベースギターの音域を追求設計された周波数ポイントによる変化幅±10dBの5素子イコライザーを備え、きめの細かいサウンド創りを可能としています。

ジャックに入力された信号は矢印のような大きな流れに分れ



Aチャンネルインジケーター

① VOLUME/PULL FAT

Aチャンネルの音量をコントロールします。Aチャンネルの入力感度は低めで、ボリュームを上げてもディストーションの少ないクリアーなサウンドです。

ツマミはFATスイッチ兼用です。手前に引くと中域がブーストされ、抜けのいい太く厚いサウンドになり、メロディーパートに偉力を発揮します。

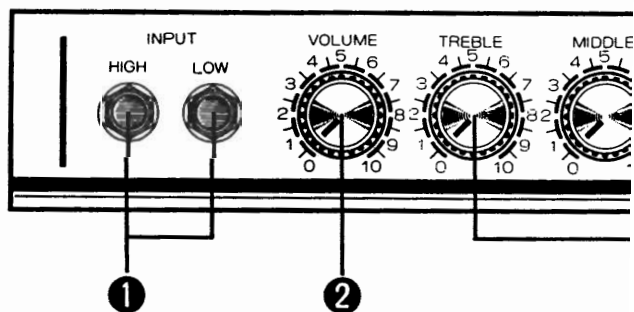
② 3バンドトーンコントロール

AチャンネルとBチャンネルに3バンドのトーンコントロールが独立して、それぞれ音色をつくります。AチャンネルとBチャンネルを切り換えたとき、トーンコントロールをセットしなおす必要がありません。

TREBLE, MIDDLE, BASS をすべて絞った状態では音が出ません。

● TREBLE/PULL BRIGHT

高域用トーンコントロール。レベルを上げるとクリアーでハグレのいいサウンドが得られます。TREBLE ツマミを手前に引くと、PULL BRIGHT スイッチがONし、高域が



① INPUT (HIGH, LOW)

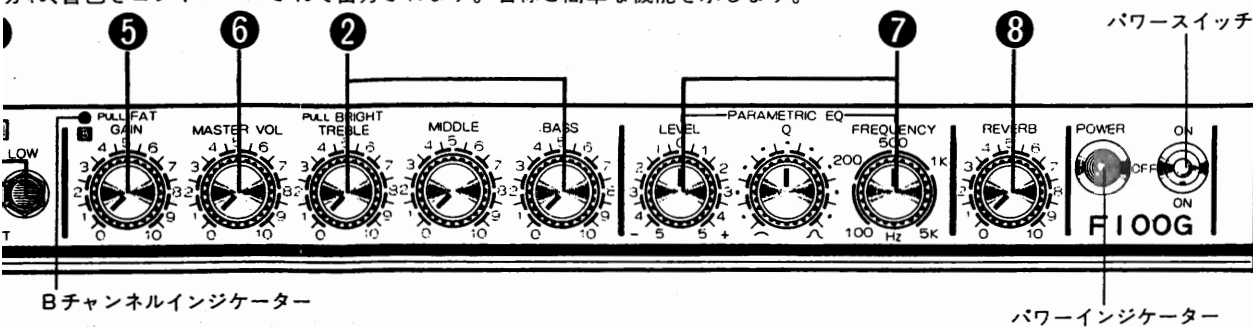
ベースギターは一般的にHIGH端子に接続します。ベースギターが高レベル出力タイプของときは、LOW端子に接続します。

LOW端子はHIGH端子に比べ音量が小さくなり、また音がソフトになります。

② VOLUME

出力の音量をコントロールします。時計方向に回すと出力が大きくなります。

分れ、音色をコントロールされて出力されます。名称と簡単な機能を示します。



更に強調されたブライトでメタリックなサウンドになります。

※PULL BRIGHTの効果はVOLUME(またはGAIN)ツマミの設定位置によって異なり、ツマミを最大にしたとき、効果は無くなります。

●MIDDLE

中域用トーンコントロール。レベルを上げると中域が強調され、抜けのいいサウンドが得られます。

●BASS

低域用トーンコントロール。レベルを上げるとヘビィで深い響きのサウンドになり、軽く切れのいいサウンドが欲しいときには絞込みます。

③ INPUT

●HIGH(高感度インプット)

ギターは普通 HIGH INPUT にプラグインします。ブライトな音質でオーバードライブしたディストーションサウンドが欲しいときに使います。

●LOW(低感度インプット)

丸い音で、ディストーションの掛からないクリアなサウンドが欲しいときに使います。ハイレベルアウトのギターやシンセサイザーにも使います。

④ A/Bセレクトスイッチ A(■)、B(一)

AチャンネルとBチャンネルを切り換えるスイッチで、選択されたチャンネルのインジケータが点灯します。

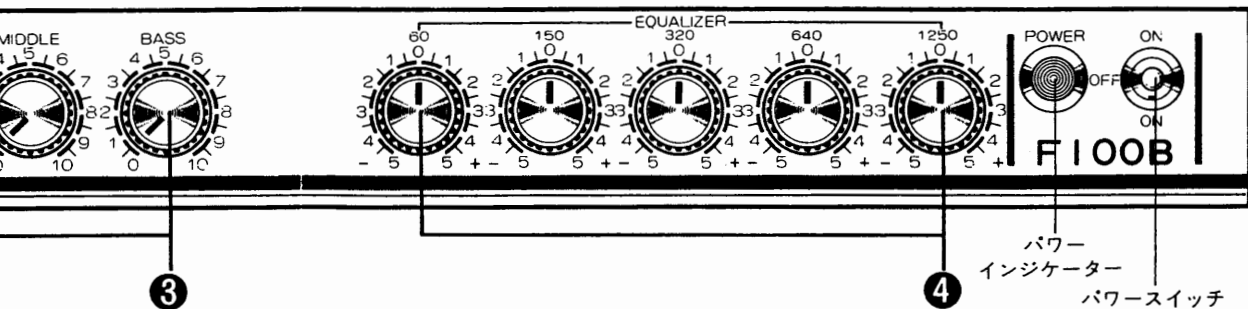
Aチャンネルはクリアなノンディストーションチャンネルで、Bチャンネルは入力感度が高く設定してあり、ディストーションが得られます。

⑤ GAIN/ PULL FAT

Bチャンネルの音量とディストーションのバランスをコントロールします。ツマミを時計方向にまわしていくと、2~3あたりから少しずつディストーションをはじめ、上げていくにつれてディストーションの度合いが強くなります。

(0では音が出ません)

このツマミもFATスイッチ付きで、腰のあるファットサウンドが得られます。



③ 3バンドトーンコントロール

高域(TREBLE)、中域(MIDDLE)、及び低域(BASS)の音色をつくるツマミです。

④ 5素子 EQUALIZER

ベースギターの周波数帯域幅を追求し、設計された60, 150, 320, 640, 1250Hzの5つのポイントによる周波数特性補正装置です。

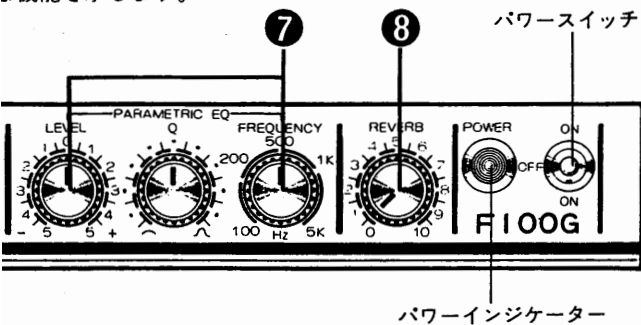
各帯域ともツマミが中央(クリックストップ位置: 0)にあるときはフラットの状態では現わ

れません。

ツマミを時計方向(+に回すとブースト、反時計方向(-)に回すとカットされます。

このイコライザーは、ステージや、スタジオでの音場特性に合わせて細かい補正ができますので、プレイヤーの感覚をフルに発揮できます。

な機能を示します。



●LOW (低感度インプット)

丸い音で、ディストーションの掛からないクリアーなサウンドが欲しいときに使います。ハイレベルアウトのギターやシンセサイザーにも使います。

④ A/Bセレクトスイッチ A(■)、B(■)

AチャンネルとBチャンネルを切り換えるスイッチで、選択されたチャンネルのインジケータが点灯します。

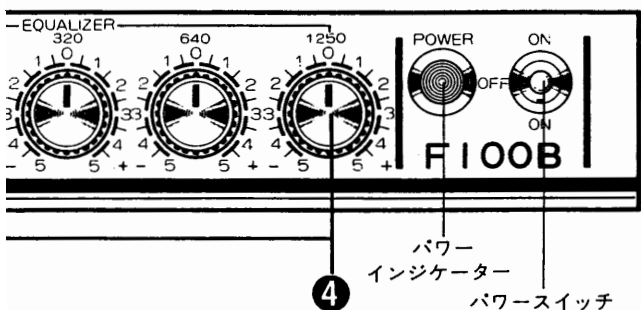
Aチャンネルはクリアーなノンディストーションチャンネルで、Bチャンネルは入力感度が高く設定してあり、ディストーションが得られます。

⑤ GAIN/PULL FAT

Bチャンネルの音量とディストーションのバランスをコントロールします。つまみを時計方向にまわしていくと、2~3あたりから少しずつディストーションしはじめ、上げていくにつれてディストーションの度合いが強くなります。

(0では音が出ません)

このつまみもFATスイッチ付きで、腰のあるファットサウンドが得られます。



れません。

つまみを時計方向(+)に回すとブースト、反時計方向(-)に回すとカットされます。

このイコライザーは、ステージや、スタジオでの音場特性に合わせて細かい補正ができますので、プレイヤーの感覚をフルに発揮できます。

⑥ MASTER VOLUME

Bチャンネルのマスターボリュームです。

音色やディストーションの状態を変えずに音量だけを変化させるつまみです。

GAINを上げてMASTER VOLUMEを絞っておけば、小音量でもワイルドなディストーションサウンドが得られます。(0では音が出ません)

⑦ PARAMETRIC EQUALIZER

●LEVEL (レベル)

ブーストまたはカットするレベルをコントロールします。つまみが中央(クロックストップ位置:0)にあるときはQ、FREQUENCYつまみがどこにあっても、効果は現われません。

つまみを時計方向(+)にまわすと、FREQUENCYつまみで設定した周波数でブーストし、その音域が強調されます。反時計方向にまわすとカットされ、その音域が減衰します。

●Q (キュー)

ブースト(∧)またはカット(∨)の鋭さをコントロールします。時計方向にまわすほど鋭い特性となり、効果のおよぼす音域が狭くなります。反時計方向にまわすほどゆるい特性となり、効果のおよぼす音域が広がります。

●FREQUENCY (フリケンシー)

効果のおよぼす周波数を決めます。表示はブーストまたはカットの中心周波数を表わします。

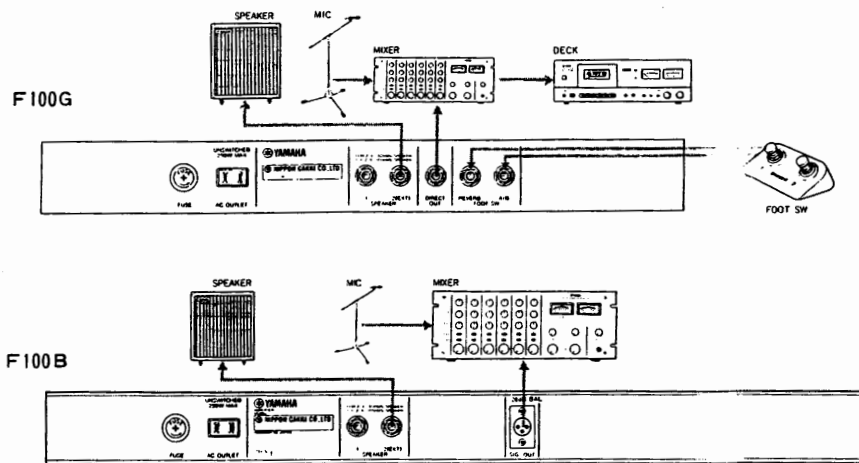
⑧ REVERB

時計方向にまわすとリバーブ効果が得られます。

パワースイッチ

このパワースイッチは、センターがOFFになっています。上あるいは下にするとONになります。これはAC電源の位相を切り換えられるようになっているため、電源を入れ、インプットに何も接続しないときのスピーカーから出る、ハムやノイズが少ない側のONを使用してください。

●リアパネル・接続図



FUSE

ヒューズを交換する場合は、必ず電源プラグをコンセントから引き抜いたのち同じ定格のものと交換してください。なお、交換してもすぐ切れる場合は、故障などの原因によるものですから、お買上げ店もしくは最寄りのヤマハサービスステーションにご相談ください。

SPEAKER 1, 2(EXT)

ジャック1または2へスピーカーを接続します。2台以上のスピーカーを接続する場合、合成インピーダンスが4Ω以下にならないようにしてください。また、接続するスピーカーは許容入力100W以上のものをご使用ください。

※誤って出力をショートした場合、保護回路が働いて音が出なくなります。保護回路が復帰するまでに1～2分間かかり、この間は音が出ません。

1 OR 2 4～8 OHMS/SPEAKER

ジャック1または2の片方だけを使用する場合は、スピーカーシステムのインピーダンスが4～8Ωのものをご使用ください。

1 + 2 8～16 OHMS/SPEAKER

ジャック1と2両方を使用する場合は、スピーカーシステムのインピーダンスが8～16Ωのものをそれぞれご使用ください。

DIRECT OUT(F100G)

ラインレベルのモニター出力端子です。ミキサー、テープデッキ等に接続するときに使用します。信号はフロントパネルの全てのツマミ等によってコントロールされメインアンプを通ったものが出力されます。

FOOT SW(F100G)

フットスイッチを接続する端子です。フットスイッチにより、A/B入力系の切り換え、リバーブのON/OFFのリモートコントロールができます。

SIGNAL OUT(F100B)

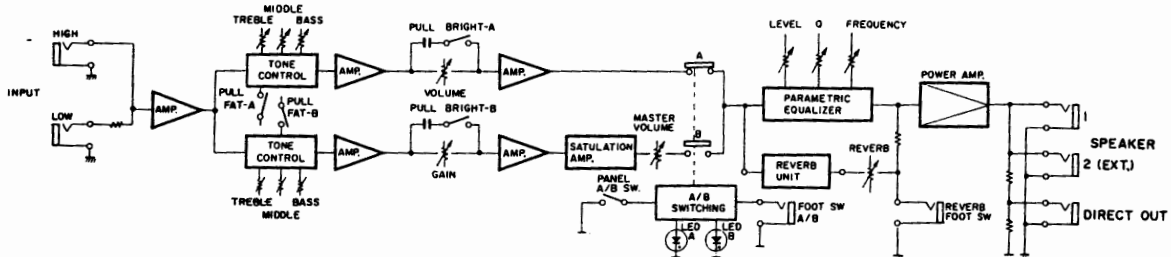
ラインレベルのモニター出力端子です。ミキサーなどに接続するときに使用します。出力される信号は、ボリューム、トーンコントロールのツマミによってコントロールされたものが出力されます。(イコライザーとメインアンプには関係なく出力されます。)

●ご注意

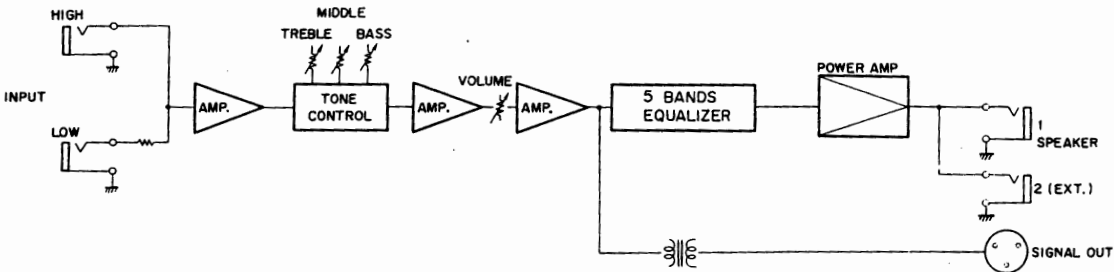
- 電気ギターとアンプを接続する際は必ずギター側を先に接続し、その後アンプ側を接続するようにしてください。逆の接続をしますとスピーカーをいためる原因となります。
- 接続コードの脱着時は必ずボリュームを絞ってください。
- AC OUTLETは250Wまで供給できます。これ以上の消費電力の機器のご利用は、おやめください。
- 物をつつけたり、落としたりの乱暴な取り扱いには部品に悪い影響を与え、性能を劣化させますので、ていねいにお取り扱いください。
- 本機は、国内電源電圧AC100V50/60Hzでお使いください。
- 安全のため落雷のおそれのある時は、コンセントから電源プラグを抜きとってください。
- この取扱説明書をお読みになった後は、保証書とともに大切に保管してください。

ブロックダイアグラム

F 100 G



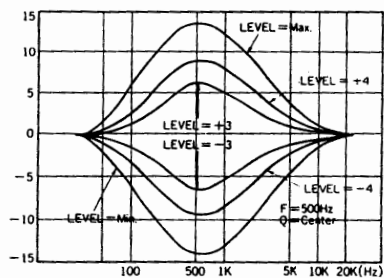
F 100 B



PARAMETRIC EQUALIZER

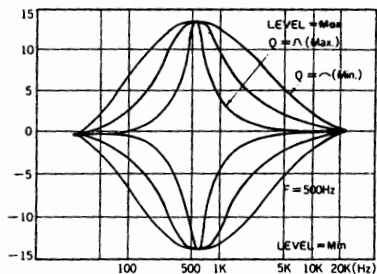
■ LEVEL

Q, FREQUENCY を一定にして、LEVEL を変えた時の特性です。LEVEL が中央の時、パラメトリックイコライザーは働きません。



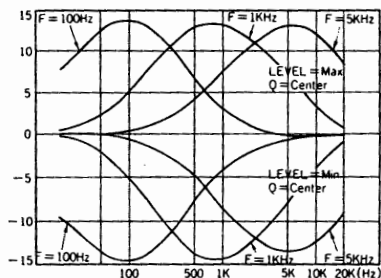
■ Q

LEVEL, FREQUENCY を一定にして、Q を変えた時の特性です。



■ FREQUENCY

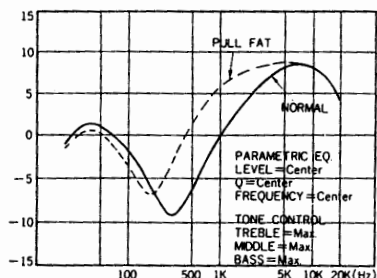
Q, LEVEL を一定にして、FREQUENCY を変えた時の特性です。



PULL FAT

■ PULL FAT

PULL FAT によって、中音域の特性だけが強調されます。



仕様

	F100G	F100B
定格出力	100WRMS(4~8Ω、T.H.D.10%)	100WRMS(4~8Ω、T.H.D.10%)
利得 (1kHz、8Ω負荷)	Aチャンネル HIGH: 70dB LOW: 58dB Bチャンネル HIGH: 84dB LOW: 72dB	HIGH: 70dB LOW: 58dB
入力インピーダンス	HIGH: 1MΩ LOW: 60KΩ	HIGH: 330KΩ LOW: 60KΩ
ノイズ (すべてのVOLUME最小)	Aチャンネル: -45dB(4.4mV) Bチャンネル: -45dB(4.4mV)	-52dB(1.9mV)
リバーブ	スプリングタイプ	——
DIRECT OUTPUT (600Ω不平衡)	-20dB(77.5mV)	——
SIGNAL OUTPUT (600Ω平衡)	——	-20dB(77.5mV)
コントロール	A/B切換スイッチ Aチャンネル PULL FAT/VOLUME PULL BRIGHT/TREBLE MIDDLE, BASS Bチャンネル PULL FAT/GAIN, MASTER VOL, PULL BRIGHT/TREBLE, MIDDLE, BASS PARAMETRIC EQ(LEVEL, Q, FREQUENCY) REVERB	VOLUME, TREBLE, MIDDLE, BASS EQUALIZER(60, 150, 320, 640, 1250Hz)
定格電源電圧	A C 100 V · 50/60Hz	
消費電力	90W	
寸法(W×H×D)	634×270×280mm	530×240×280mm
重量	16.5kg	13.5kg

※仕様および外観は改良のため予告なく変更されることがございます。

サービスのご依頼について

保証

ヤマハギターアンプの保証は、ご購入日より(保証書による)満1ヶ年(現金・クレジット・月賦等による区別はございません。又保証は国内のみ有効)と致します。

保証書

ヤマハギターアンプには、保証書が添付されておりますので販売店の店頭にて諸事項をご記入の上、大切に保管ください。

アフターサービス

保証期間中に万一故障が発生した場合、お買上げ店にご持参きますと、技術者が修理・調整致します。この際必ず保証書をご提示ください。保証書なき場合にはサービス料金を戴く場合もあります。又お買上げ店より遠方に移転される場合は、事前にお買上げ店あるいは日本楽器電音サービスステーションにご連絡ください。移転先におけるサービス担当店をご紹介申し上げますと同時に、引続き保証期間中のサービスを責任をもって行なうよう手続き致します。

保証期間後のサービス

満1ヶ年の保証期間を過ぎますとサービスは有料となりますが、引続き責任をもってサービスをさせていただきます。なお修理可能期間は10年、また補修用性能部品(製品本来の機能を維持するために必要な部品)の最低保有期間は8年となっています。そのほかご不明の点などございましたらお客様ご相談窓口までお問い合わせください。

日本楽器製造株式会社

本社・工場	〒430 浜松市中区町10-1 TEL. 0534(65)1111
東京支店	〒104 東京都中央区銀座7-11-3/矢島ビル8F TEL. 03(574)8592
銀座店	〒104 東京都中央区銀座7-9-14 TEL. 03(572)3131
渋谷店	〒150 東京都渋谷区道玄坂2-10-7/新大塚ビル内 TEL. 03(478)5441
池袋店	〒171 東京都豊島区南池袋1-24-2 TEL. 03(981)5271
池袋ショップ	〒170 東京都豊島区東池袋1-30-1 フランスウィックスポーツガーデン内 TEL. 03(983)9914
ヤマハ吉祥センター	〒180 東京都吉祥寺本町1-10-1/いなりやビル内 TEL. 0422(21)7182
横浜店	〒220 横浜西区南幸2-15-13 TEL. 045(311)1201
千葉店	〒280 千葉県千葉市2-1/千葉中央コミュニティセンター TEL. 0476(47)6813
新潟店	〒950 新潟市万代1-4-8/シルバーポフルビル TEL. 0252(43)4311
大阪支店	〒542 大阪府南区南船場3-12-9 心斎橋プラザビル東館(8.9階) TEL. 06(251)1111
心斎橋店	〒542 大阪府南区心斎橋筋2-39 TEL. 06(211)8331
神戸店	〒651 神戸市中央区元町通2-7-3 TEL. 078(321)1191
高松店	〒780 高松市丸亀町8-7 TEL. 0878(51)7777・(22)3045
名古屋支店	〒460 名古屋市中区錦1-18-28 TEL. 052(201)5141
名古屋店	〒460 名古屋市中区錦1-18-28 TEL. 052(201)5154
九州支店	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL. 092(472)2151
福岡店	〒810 福岡市中央区天神1-11/福岡ビル内 TEL. 092(721)7621
小倉店	〒802 北九州市小倉北区魚町1-1-1 TEL. 093(531)4331
北浜支店	〒064 札幌市中央区南十条西5丁目4番地 ヤマハセンター TEL. 011(512)8111
札幌店	〒064 札幌市中央区南十条西5丁目4番地 ヤマハセンター TEL. 011(512)8124
仙台支店	〒980 仙台市大町2-2-10 TEL. 0222(22)6141
仙台店	〒980 仙台市一番町2-6-5 TEL. 0222(27)8516
広島支店	〒730 広島市中区紙屋町1-1-18 TEL. 082(248)4511
広島店	〒730 広島市中区紙屋町1-1-18 TEL. 082(248)4511
浜松支店	〒430 浜松市東区321-6 TEL. 0534(54)4116
浜松店	〒430 浜松市東区321-6 TEL. 0534(54)4325

YAMAHA電気音響製品サービス拠点

修理受付および修理品お預り	
東京電音サービスセンター	〒211 川崎市中原区木月1184 TEL. (044) 434-3100
新潟電音サービスステーション	〒950 新潟市万代1-4-8(シルバーホール2F) TEL. (0252) 43-4321
大阪電音サービスセンター	〒565 吹田市新舞臺下1-16(千聖ビル内) TEL. (06) 877-5262
西国電音サービスステーション	〒760 高松市丸亀町8-7(日本楽器高松店内) TEL. (0878) 51-7777(0878) 22-3045
名古屋電音サービスセンター	〒454 名古屋市中川区玉川町2-1-2 (日本楽器名古屋流通センター) TEL. (052) 652-2230
九州電音サービスセンター	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL. (092) 421-2134
北海道電音サービスセンター	〒065 札幌市東区本町1条9丁目3番地 TEL. (011) 781-3621
仙台電音サービスセンター	〒983 仙台市卸町5丁目7(加藤共同配送センター3F) TEL. (0222) 96-0249
広島電音サービスセンター	〒731-01 広島市安佐南区紙屋町西原2205-3 TEL. (082) 874-3787
浜松電音サービスセンター	〒432 浜松市東区東2-13-12 TEL. (0534) 56-9211

本社

〒430 浜松市中区町10-1
TEL. (0534) 65-1111

※住所及び電話番号は変更になる場合があります。



YAMAHA

BWgY, 0. RR